

# 平成29年下期 景気動向調査結果

～ 業況は改善続くが、先行きに慎重な見方 ～

和歌山商工会議所

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成29年7月1日から平成29年12月31日(平成29年下期)
- 調査実施期間：平成30年1月11日から平成30年1月24日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 534事業所
- 回答数：回収数 150(回収率28.1%)

業種		従業員数					合計
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	
製造業		3	10	8	8	18	47
非製造業	建設業	3	5	6	2	2	18
	小売業	5	3	2	0	3	13
	卸売業	4	4	2	4	3	17
	サービス業	14	8	7	6	7	42
	その他業	5	3	2	0	3	13
合計		34	33	27	20	36	150

## ● 概要

平成29年下期(7月～12月)の景況感は、製造業では、原材料価格の高騰や人材不足による受注機会損失などのマイナス要因があるものの、好調な売上がマイナス要因を打消し業況・採算も改善している。

非製造業でも、人件費の増加や原材料・燃料費の高騰を価格転嫁できなく利益率は悪化しているが、売上が好調であるため業況・採算は改善している。

先行きについては、全業種で改善するとの見通しであるが、「慢性的な人手不足と仕入単価の上昇」を懸念する声も聞かれ、先行きに慎重な見方がある。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

### ●製造業

- ・工程の自動化(ロボット化)による作業効率アップ。
- ・工場の増築と機械設備で投資。
- ・新製品の開発。
- ・人材の確保。
- ・実店舗販売に加えてネット販売にも力を入れて行きたいと考え、現在は大手インターネットショッピングモールでの販売をしているが自社ページでもブランドの確立を試みている。

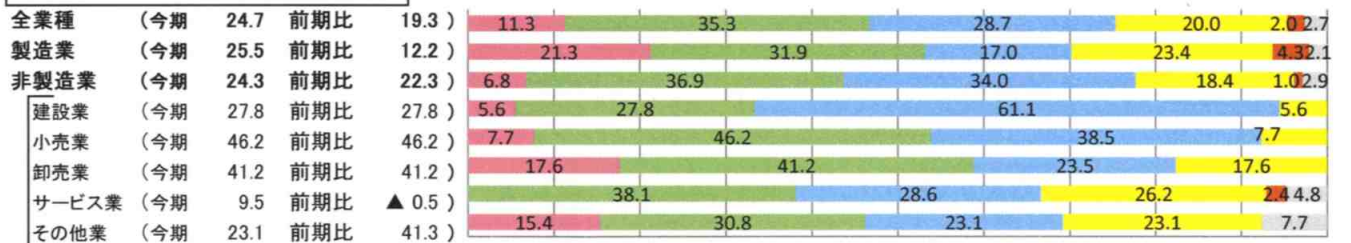
### ●非製造業

- ・事務作業の効率化・スピードアップによる合理化。
- ・人材の教育・育成。
- ・人材の確保。

### ※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(H29年7月～12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H29年7月～12月)の状況

製造業で25.5(前期比+12.2)、非製造業で24.3(前期比+22.3)、全業種で24.7(前期比+19.3)となった。製造業、非製造業ともに大きく改善している。

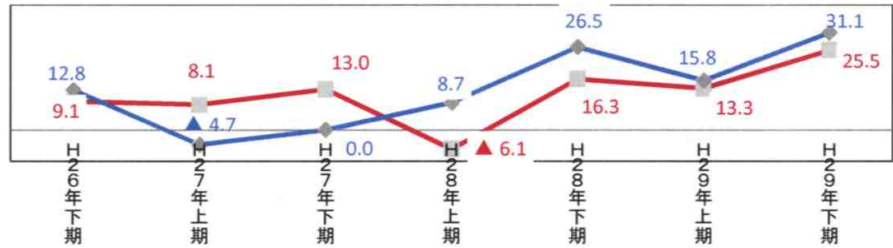
好転した要因として、「大型受注工事の完工」、「取引先の新工場稼働」、「状況は厳しいが固定客獲得度がアップした」、「輸出商品が増加したため」、「市場の多角開拓」、「専門店、百貨店部門が好調」等が挙げられている。

悪化した要因としては、「人手不足、人件費増」、「顧客都合による着工遅れ」、「仕入高、市況価格の低下」等が挙げられている。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

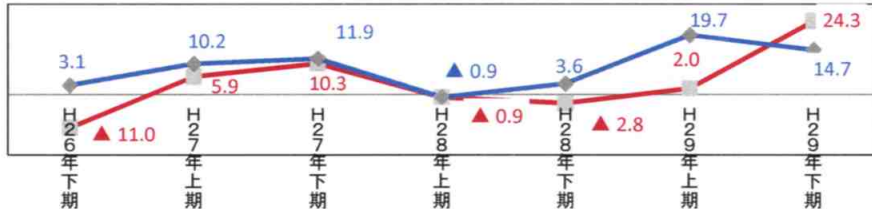
DI値の推移  
製造業

■ 今期のDI値  
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 今期のDI値  
■ 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、今期と比較し、製造業で19.1ポイント改善の44.7、非製造業で4.9ポイント悪化の19.4、全業種で2.7ポイント改善の27.3と見通している。製造業と非製造業の業種別で見るとサービス業、その他業で改善の見通しとなった。

今期(H29年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位:%)

業種	今期	前期比	DI値	増加	やや増加	不変	やや減少	減少	無回答
全業種	28.0	前期比	21.2	16.0	37.3	18.7	20.7	4.7	2.7
製造業	29.8	前期比	16.5	25.5	34.0	8.5	23.4	6.4	2.1
非製造業	27.2	前期比	23.3	11.7	38.8	23.3	19.4	3.9	2.9
建設業	27.8	前期比	34.5	11.1	33.3	38.9	16.7		
小売業	30.8	前期比	19.0	7.7	46.2	23.1	15.4	7.7	
卸売業	52.9	前期比	47.6	23.5	47.1	11.8	11.8	5.9	
サービス業	16.7	前期比	9.2	7.1	38.1	23.8	4.8	4.8	
その他業	23.1	前期比	32.2	15.4	30.8	23.1	23.1	7.7	

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(H29年7月～12月)の状況

売上DI値は、製造業で29.8(前期比+16.5)、非製造業で27.2(前期比+23.3)、全業種で28.0(前期比+21.2)となり、製造業、非製造業ともに改善した。非製造業を業種別で見ると、全ての業種で改善した。

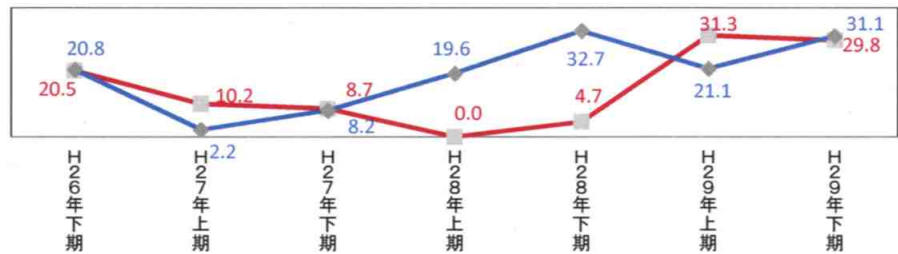
売上増加の要因としては、「比較的大規模な現場があった」、「予想よりも公共工事の受注がうまくできた」などがあげられる。悪化の要因としては、「工事量の減少」、「大口客の売上減少」、「インバウンド宿泊者の減少」などの声が聞かれた。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

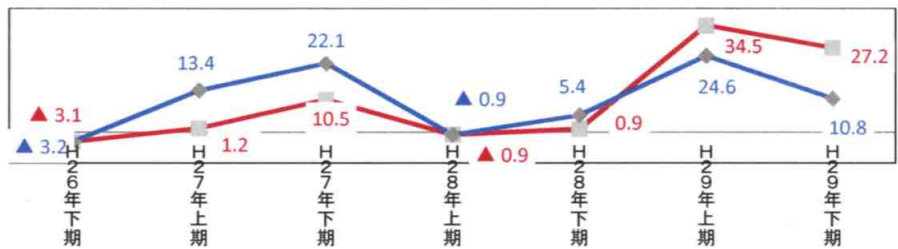
製造業

■ 実際のDI値  
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値  
● 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(売上)

(単位:%)

業種	見通し	今期比	DI値	増加	やや増加	不変	やや減少	減少	無回答
全業種	26.0	▲ 2.0	11.3	26.7	48.7	10.7	1.3	31.3	
製造業	53.2	▲ 23.4	17.0	38.3	42.6	2.1			
非製造業	13.6	▲ 13.6	8.7	21.4	51.5	14.6	1.9	1.9	
建設業	▲ 5.6	▲ 33.3	5.6	72.2	16.7				
小売業	0.0	▲ 30.8	7.7	23.1	38.5	23.1	7.7		
卸売業	23.5	▲ 29.4	29.4	11.8	41.2	11.8	5.9		
サービス業	16.7	0.0	2.4	31.0	47.6	16.7	2.4		
その他業	30.8	7.7	7.7	23.1	61.5	7.7			

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDIは、製造業で23.4ポイント改善の53.2、非製造業で13.6ポイント悪化の13.6、全業種で2.0ポイント悪化の26.0と見通している。

非製造業を業種別で見ると、「その他業」で改善を見通している。

今期(H29年7月～12月)のDI値

(採算)

(単位:%)

業種	今期	前期比	前期値	DI値	DI値	DI値	DI値	DI値	DI値
全業種	16.0	▲20.8	20.8	7.3	32.0	34.0	18.7	4.7	3.3
製造業	19.1	▲10.2	10.2	17.0	25.5	29.8	14.9	8.5	4.3
非製造業	14.6	▲25.4	25.4	2.9	35.0	35.9	20.4	2.9	2.9
建設業	33.3	▲33.3	33.3		38.9	46.6			26.8
小売業	30.8	▲36.7	36.7	7.7	46.2	23.1	23.1		
卸売業	23.5	▲34.0	34.0	5.9	35.3	41.2	11.8	5.9	
サービス業	▲7.1	▲2.9	2.9	2.4	26.2	31.0	31.0	4.8	4.8
その他業	30.8	▲67.2	67.2		46.2	30.8	15.4		7.7

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(H29年7月～12月)の状況

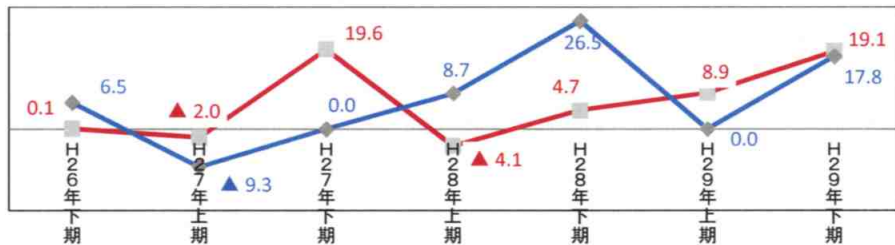
採算DI値は、製造業で19.1(前期比+10.2)、非製造業で14.6(前期比+25.4)、全業種で16.0(前期比+20.8)となった。製造業では、前期に引き続き改善した。非製造業においても改善した。非製造業を業種別で見ると、建設業、小売業、卸売業、その他業においても、プラス域の推移となっている。好転した要因として、「経費削減の努力による効果」、「経費高止まり分を売上が上回った」。悪化した要因として、「原材料の高騰」、「物流コスト値上りと人件費の高騰」等が挙げられている。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

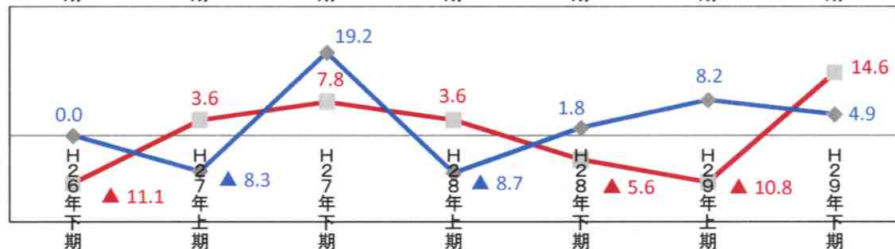
製造業

■実際のDI値  
●前期調査時点での今期見通し



非製造業

■実際のDI値  
●前期調査時点での今期見通し



来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(採算)

(単位:%)

業種	見通し	今期比	今期値	DI値	DI値	DI値	DI値	DI値	DI値
全業種	12.7	▲3.3	16.0	7.3	23.3	49.3	16.7	12.7	32.0
製造業	17.0	▲2.1	19.1	12.8	21.3	48.9	17.0		
非製造業	10.7	▲3.9	14.6	4.9	24.3	49.5	16.5	10.7	2.9
建設業	▲5.6	▲38.9	33.3	5.6	5.6	72.2	16.7		
小売業	0.0	▲30.8	30.8		30.8	38.5	30.8		
卸売業	17.6	▲5.9	23.5	11.8	29.4	35.3	17.6	5.9	
サービス業	11.9	▲19.0	2.9	2.4	28.6	47.6	16.7	2.4	2.4
その他業	30.8	0.0	30.8	7.7	23.1	53.8			15.4

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で2.1ポイント悪化の17.0、非製造業で3.9ポイント悪化の10.7、全業種で3.3ポイント悪化の12.7と見通している。非製造業を業種別で見ると「サービス業」で改善を見通している。

# 【 資金繰りDI値 】

## 今期(H29年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)

業種	今期	前期比	変化	好転	やや好転	不変	やや悪化	悪化	無回答
全業種	14.0	1.8	▲	9.3	14.7	63.3	8.0	2.0	2.7
製造業	17.0	5.9	▲	19.1	8.5	61.7	8.5	2.1	0.1
非製造業	12.6	▲0.1	▲	4.9	17.5	64.1	7.8	1.9	3.9
建設業	27.8	▲12.2	▲	11.1	16.7	72.2			
小売業	15.4	15.4	▲	7.7	15.4	69.2		7.7	
卸売業	23.5	7.7	▲	5.9	23.5	64.7		5.9	
サービス業	4.8	▲0.6	▲	2.4	14.3	64.3	9.5	2.4	7.1
その他業	0.0	0.0	▲	23.1		46.2	23.1		7.7

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

## 今期(H29年7月～12月)の状況

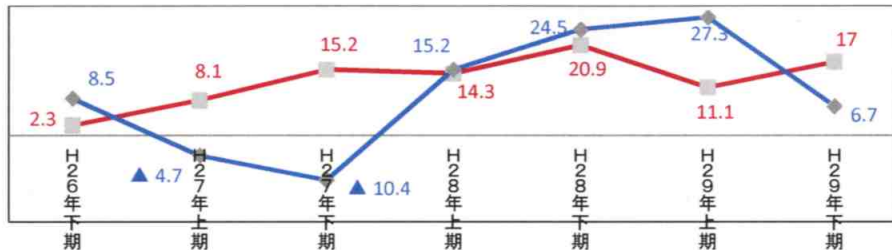
資金繰りDI値は、製造業で17.0(前期比+5.9)、非製造業で12.6(前期比-0.1)、全業種で14.0(前期比+1.8)となった。製造業では、引き続きプラス域で推移。非製造業においてもプラス域で推移している。非製造業を業種別で見ると、「小売業」、「卸売業」で改善した。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

## DI値の推移

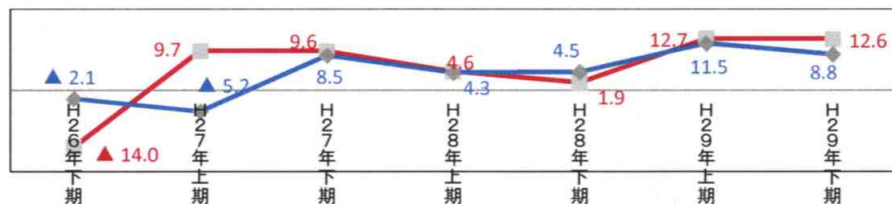
### 製造業

■実際のDI値  
■前期調査時点での今期見通し



### 非製造業

■実際のDI値  
■前期調査時点での今期見通し



## 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)

業種	見通し	今期比	変化	好転	やや好転	不変	やや悪化	悪化	無回答
全業種	6.0	▲8.0	▲	5.3	10.0	72.7	8.7	0	2.7
製造業	17.0	0.0	▲	12.8	10.6	68.1	6.4	2.1	0.1
非製造業	1.0	▲11.7	▲	1.9	9.7	74.8	9.7	1.0	2.9
建設業	0.0	▲27.8	▲	5.6		88.9			5.6
小売業	▲23.1	▲38.5	▲	7.7		61.5	30.8		
卸売業	17.6	▲5.9	▲	5.9	11.8	82.4			
サービス業	▲4.8	▲9.5	▲	9.5		73.8	11.9	2.4	2.4
その他業	見通し	23.1	23.1	7.7	15.4	61.5			15.4

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

## 今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

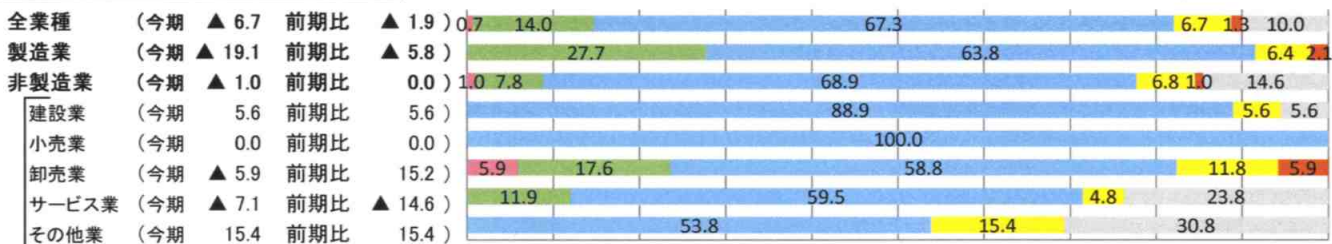
今期と比較した来期の見通しDIは、製造業で17.0ポイントと横ばい、非製造業で11.7ポイント悪化の1.0、全業種で8.0ポイント悪化の6.0と見通している。非製造業を業種別で見ると「その他業」で改善を見通している。

【 在庫DI値 】

今期(H29年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

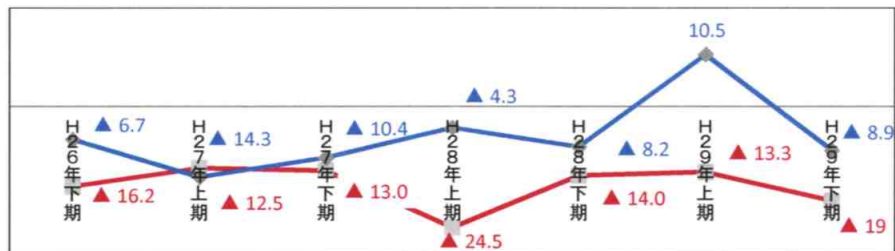
今期(H29年7月～12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲19.1(前期比-5.8)、非製造業で▲1.0(前期比0.0)、全業種で▲6.7(前期比-1.9)となった。製造業では悪化、非製造業では、5期連続で改善したもの、いずれもマイナス域で推移しており在庫調整が進んでいない状況である。非製造業を業種別に見ると、「小売業」、「サービス業」を除く他の業種で改善している。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

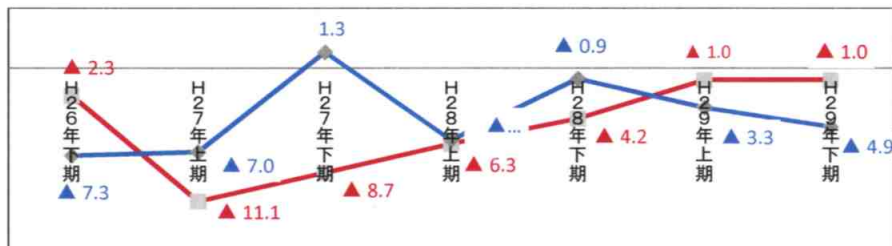
DI値の推移  
製造業

■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

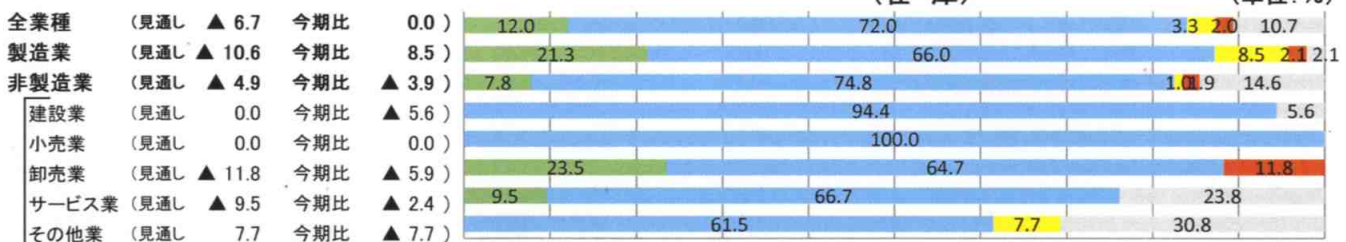
■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しは、製造業で8.5ポイント改善の▲10.6、非製造業で3.9ポイント悪化の▲4.9、全業種では変わらず▲6.7と見通している。非製造業を業種別で見ると、卸売業、サービス業で悪化すると見通している。

# 【仕入単価DI値】

## 今期(H29年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

## 今期(H29年7月～12月)の状況

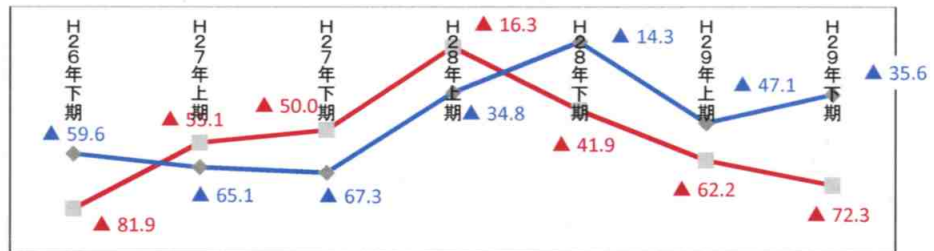
仕入単価DI値は、製造業で▲72.3(前期比-10.1)、非製造業では▲39.8(前期比-13.3)、全業種で▲50.0(前期比-12.6)となった。製造業、非製造業ともに「原材料の高騰」、「物流コスト値上と人件費の高騰」が要因で3期連続で悪化した。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

## DI値の推移

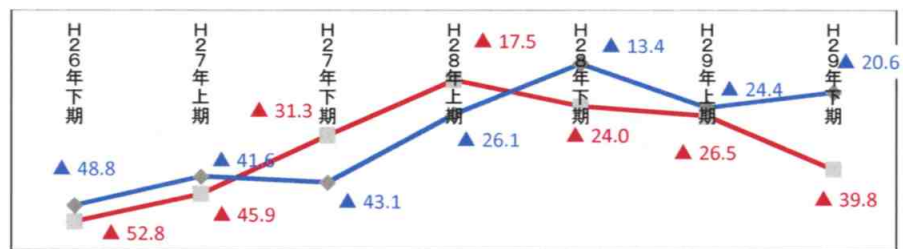
### 製造業

■ 実際のDI値  
■ 前期調査時点での今期見通し



### 非製造業

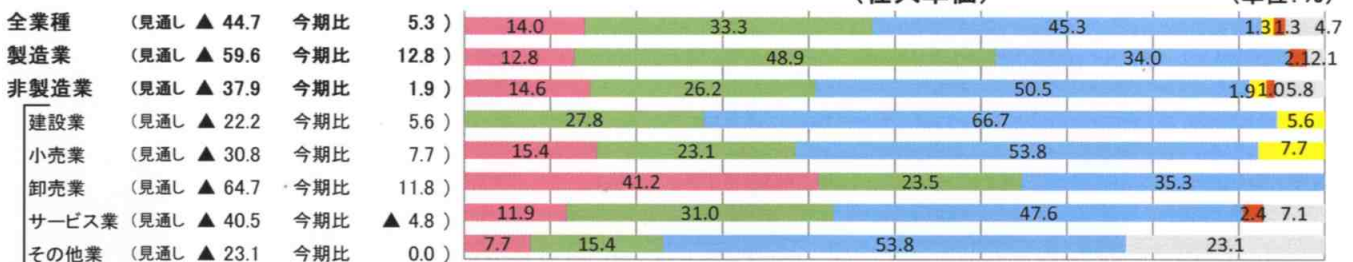
■ 実際のDI値  
■ 前期調査時点での今期見通し



## 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

## 今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

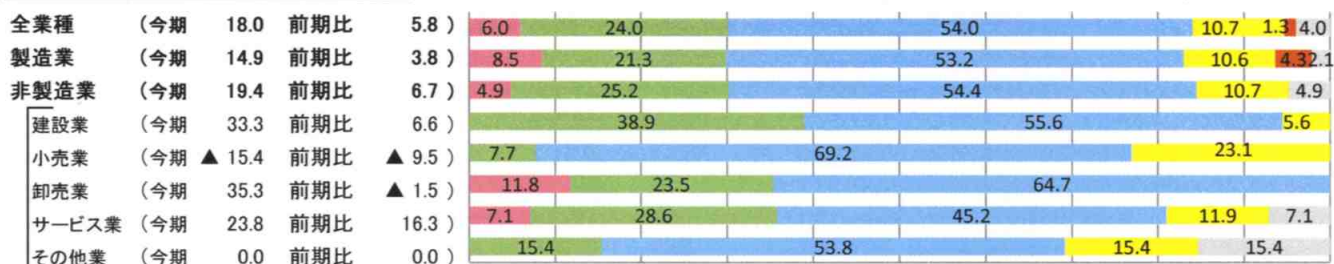
来期の見通しは、製造業で12.8ポイント改善の▲59.6、非製造業で1.9ポイント改善の▲37.9、全業種で5.3ポイント改善の▲44.7と見通している。非製造業を業種別で見ると全ての業種で改善傾向は見られるが見通しは厳しい。

## 【 従業員数DI値 】

### 今期(H29年7月～12月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

### 今期(H29年7月～12月)の状況

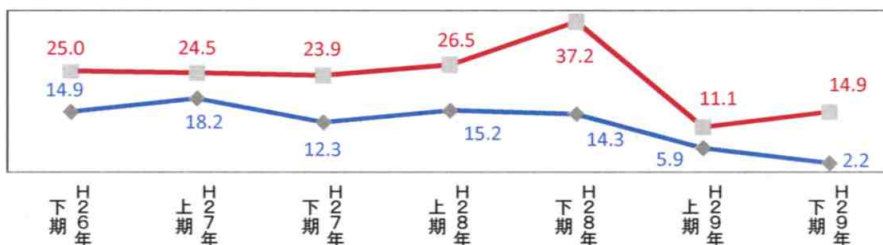
従業員数DI値は、製造業で14.9(前期比+3.8)、非製造業で19.4(前期比+6.7)、全業種で18.0(前期比+5.8)となった。非製造業を業種別に見ると、「建設業」・「サービス業」で上昇した。製造業・非製造業ともに「人材確保のための取り組みに力を入れている」ため従業員数は上昇傾向にあるが、「直面している課題(P.10参照)」においても全業種で人材の確保難が上位を占めており、業況に更なる影響を及ぼしかねない状況となっている。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

### DI値の推移

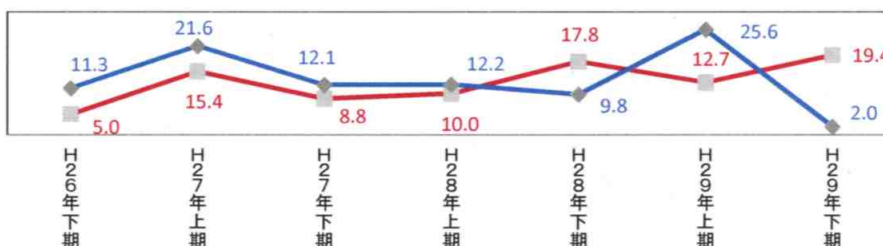
#### 製造業

■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



#### 非製造業

■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



### 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

### 今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

来期の見通しは、製造業で19.1ポイント上昇の34.0、非製造業で3.9ポイント上昇の23.3、全業種で8.7ポイント上昇の26.7と見通している。非製造業を業種別で見ると、「建設業」で減少する見通しとなった。

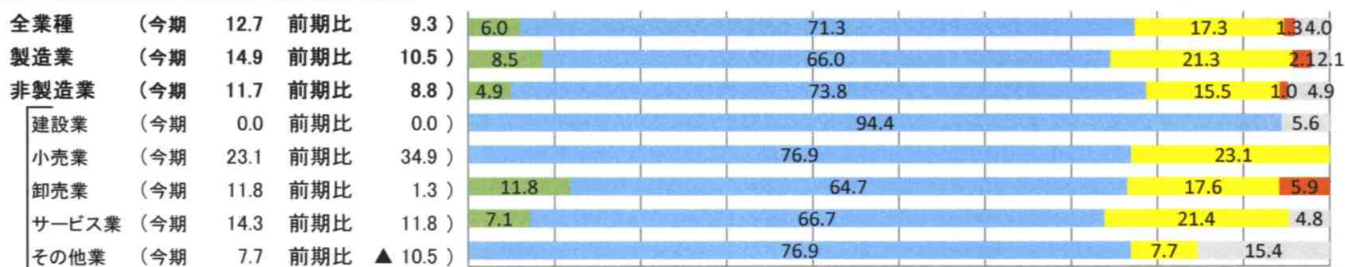


# 【 設備DI値 】

## 今期(H29年7月～12月)のDI値

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

## 今期(H29年7月～12月)の状況

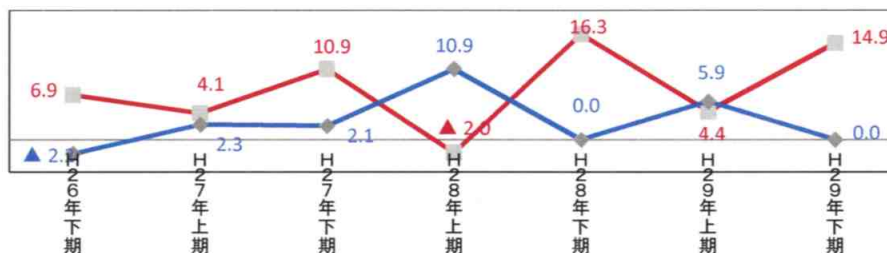
設備DI値は、製造業で14.9(前期比+10.5)、非製造業で11.7(前期比+8.8)、全業種で12.7(前期比+9.3)となった。製造業、非製造業ともに改善した。非製造業においては、「その他業」を除く他の業種で改善した。

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

## DI値の推移

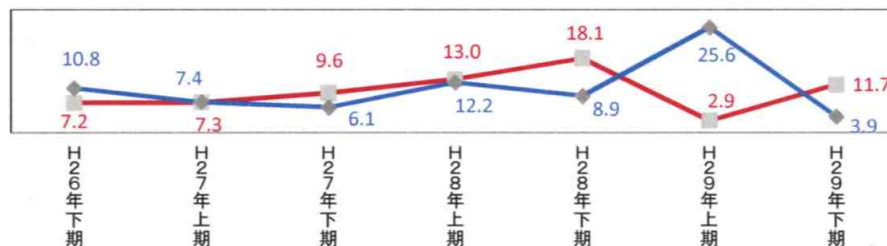
### 製造業

■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



### 非製造業

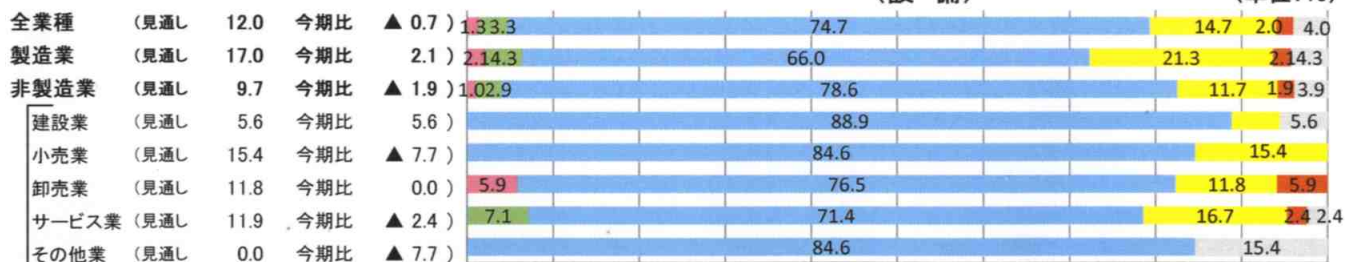
■ 実際のDI値  
◆ 前期調査時点での今期見通し



## 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

## 今期と比較した来期(H30年1月～6月)の見通し

来期の見通しは、製造業で2.1ポイント改善の17.0、非製造業で1.9ポイント悪化の9.7、全業種で0.7ポイント悪化の12.0と見通している。非製造業を業種別で見ると、建設業で改善を見通している。

## 【 新規設備投資 】

### ◆ 今期 (H29年7月～12月) の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成29年7月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

### ◆ 来期 (H30年1月～6月) の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

## 【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	2.1%	6.8%	0.0%	① 30.8%	0.0%	7.1%	0.0%
需要の停滞	10.6%	② 18.4%	② 22.2%	① 30.8%	11.8%	③ 16.7%	15.4%
為替差損	2.1%	1.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	7.7%
売上単価の低下	10.6%	7.8%	11.1%	7.7%	0.0%	11.9%	0.0%
新規参入業者の増加	4.3%	5.8%	11.1%	15.4%	0.0%	4.8%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	23.4%	15.5%	5.6%	① 30.8%	0.0%	② 23.8%	7.7%
生産設備の不足・老朽化	③ 27.7%	5.8%	0.0%	7.7%	5.9%	9.5%	0.0%
原材料の不足	8.5%	1.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 40.4%	13.6%	5.6%	15.4%	① 23.5%	11.9%	15.4%
下請負単価の上昇	0.0%	1.9%	5.6%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
官公需要の停滞	2.1%	6.8%	② 22.2%	0.0%	5.9%	4.8%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	2.1%	1.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	2.1%	1.9%	0.0%	0.0%	5.9%	2.4%	0.0%
価格への転嫁難	12.8%	3.9%	5.6%	0.0%	11.8%	2.4%	0.0%
人件費の増加	21.3%	③ 16.5%	16.7%	0.0%	① 23.5%	14.3%	① 30.8%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	5.9%	2.4%	0.0%
店舗・施設の老朽化	2.1%	9.7%	0.0%	15.4%	5.9%	9.5%	② 23.1%
従業員・熟練技術者の確保難	② 34.0%	① 33.0%	① 38.9%	23.1%	③ 17.6%	① 42.9%	② 23.1%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	4.3%	5.8%	11.1%	0.0%	0.0%	7.1%	7.7%
その他	6.4%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.7%

# 参考資料

## 小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

### 景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成29年7月1日から平成29年12月31日（平成29年下期）
- 調査実施期間：平成30年1月11日から平成30年1月24日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）290事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：120（回答率41.3%）

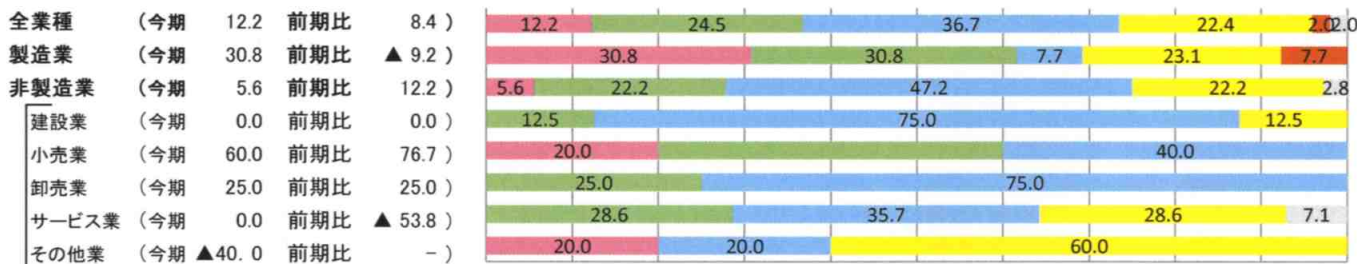
業種		従業員数		合計
		0~5人	6~20人	
製造業		10	23	33
非製造業	建設業	9	11	20
	小売業	12		12
	卸売業	9		9
	サービス業	34	0	34
	その他業	12		12
合計		86	34	120

### 業況DI

#### 今期（H29年7月～12月）のDI値

（業況）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化

#### 来期（H30年1月～6月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

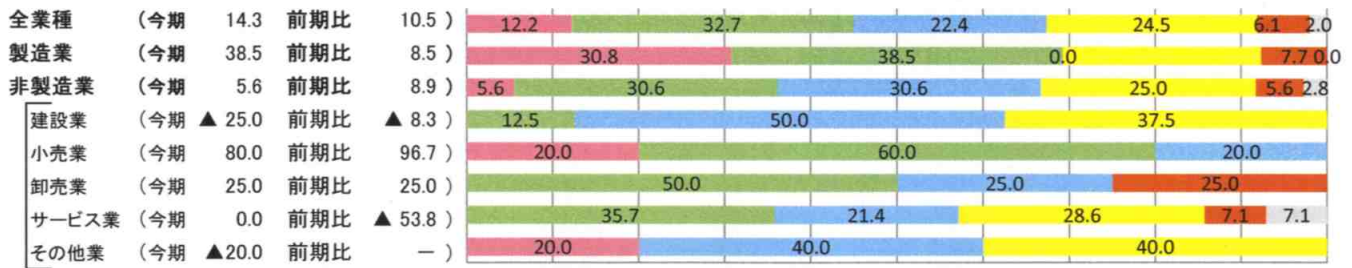
■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

売上DI

今期(H29年7月~12月)のDI値

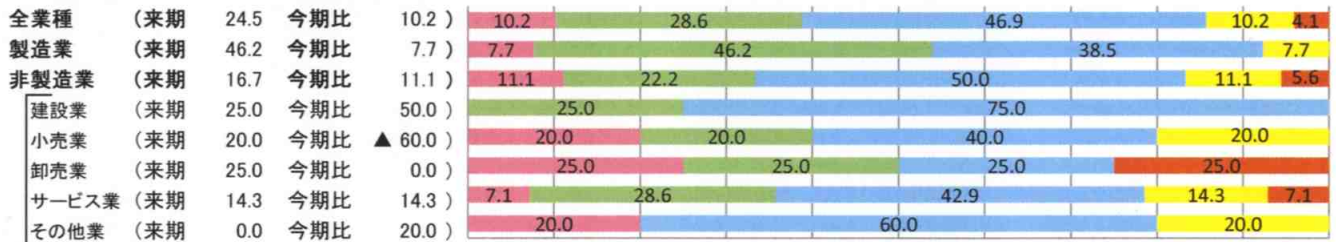
(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少

来期(H30年1月~6月)の見通しDI値



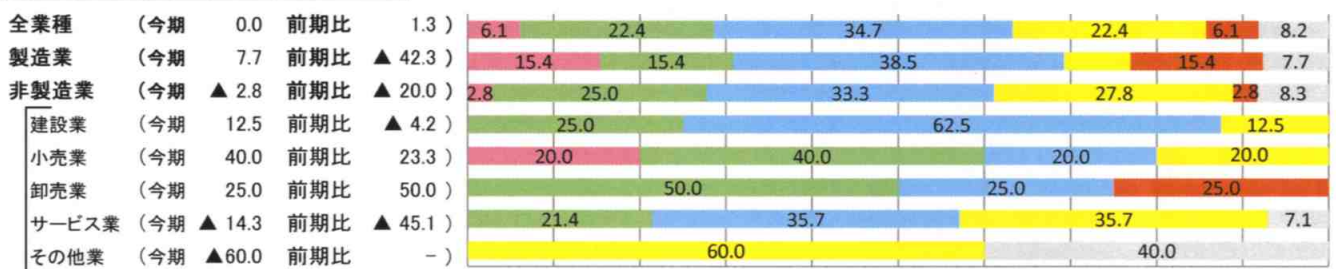
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(H29年7月~12月)のDI値

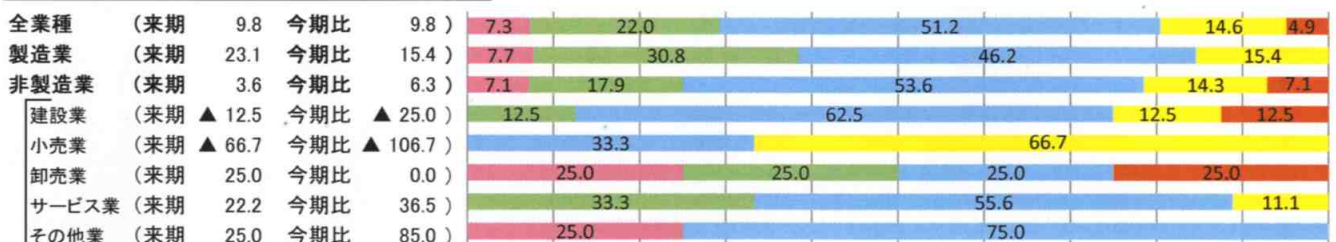
(採算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(H30年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

資金繰りDI

今期(H29年7月~12月)のDI値

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(H30年1月~6月)の見通しDI値



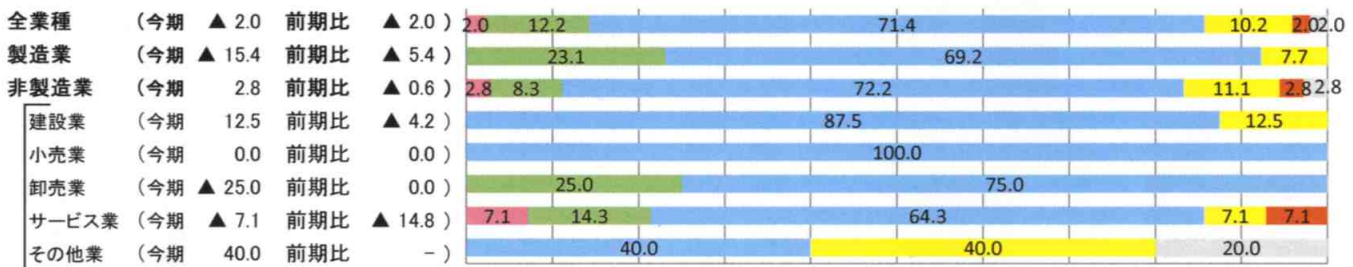
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

在庫DI

今期(H29年7月~12月)のDI値

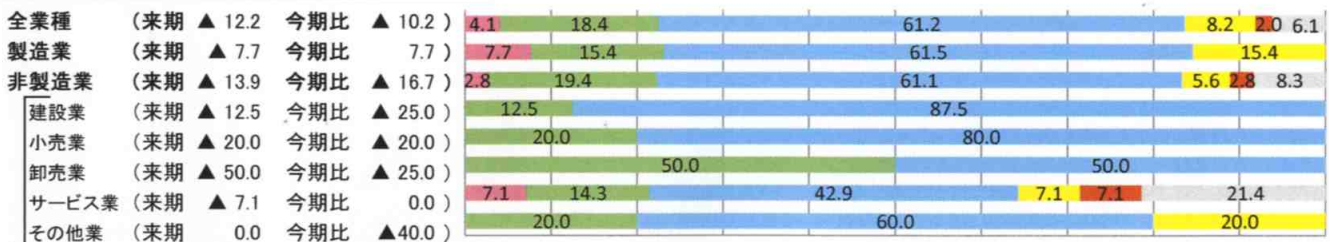
(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H30年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

## 仕入単価DI

### 今期(H29年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

### 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

## 従業員数DI

### 今期(H29年7月～12月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

### 来期(H30年1月～6月)の見通しDI値



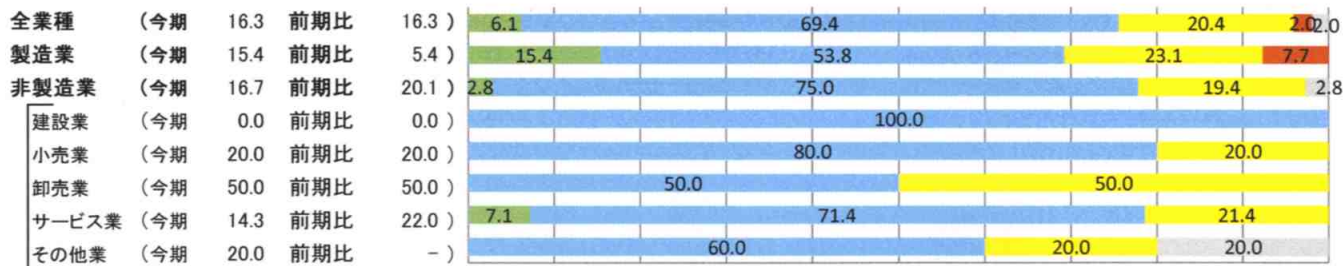
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

設備DI

今期(H29年7月~12月)のDI値

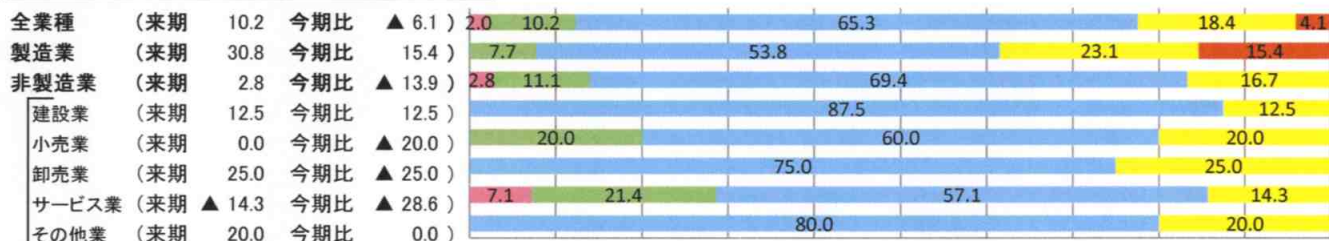
(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H30年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(H29年7月~12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(H30年1月~6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	4.8%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	③ 23.1%	① 47.6%	① 37.5%	① 40.0%	① 25.0%	② 21.4%	① 20.0%
為替差損	7.7%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
売上単価の低下	7.7%	19.0%	12.5%	0.0%	0.0%	② 21.4%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③ 23.1%	② 33.3%	12.5%	20.0%	0.0%	① 28.6%	① 20.0%
生産設備の不足・老朽化	① 38.5%	9.5%	0.0%	20.0%	0.0%	7.1%	0.0%
原材料の不足	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 38.5%	19.0%	12.5%	① 40.0%	0.0%	0.0%	① 20.0%
下請負単価の上昇	0.0%	4.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	7.7%	14.3%	② 25.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	① 25.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
価格への転嫁難	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費の増加	③ 23.1%	14.3%	② 25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	① 20.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	③ 23.1%	② 33.3%	② 25.0%	① 40.0%	0.0%	14.3%	① 20.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	7.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	① 20.0%
その他	7.7%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%